

継続した支援体制づくり

幼保小連携協議会

「幼保・小実務担当者会議（合同引継ぎ）」

3月26日(火)と27日(水)の2日間にわたり、市民会館で開催した『幼保・小実務担当者会議（合同引継ぎ）』（市教育委員会主催）に、市内外の保育所や幼稚園、市内の小学校から計83人の先生が参加しました。小学校入学という大きなステップを踏み出す新1年生が、円滑に学校生活を送れるよう、保育所や幼稚園での生活の様子などを小学校の先生に事前に知ってもらうために2012年度から開催している同会議。市は、将来を担う子どもたちの安全安心の学校生活のため、引き続き、さまざまな取り組みを進めていきます。

3/26・27



▲持参したカメラで、順番にザゼンソウを写真に収める参加者



ザゼンソウ

湿原でひっそりとたずむ

キウシト湿原『ザゼンソウ観察会』

3月31日(日)、休園中のキウシト湿原で開催された『ザゼンソウ観察会』（NPO法人キウシト湿原・登別主催）に市内外から訪れた約30人が参加しました。

花を咲かせた姿が、座禅を組むお坊さんに似ていることから名付けられた『ザゼンソウ』。キウシト湿原内でも、保全区域でしか生育していません。

『NPO法人キウシト湿原・登別』のメンバーから、ガイドを受けながら、普段立ち入ることができない湿原内を散策した参加者は、春の訪れを肌で感じていました。

3/31

交通事故のないまちを目指して

登別市交通安全指導員

委嘱状交付式

3月26日(火)、交通安全活動に熱意をもった28人に交通安全指導員を委嘱しました。

2017年には、飲酒運転による歩行者死亡事故が発生している登別市。交通事故の発生件数は、2017年には64件、2018年には52件と減少しているものの、道内では全国的にも多くの事故が発生しています。

市内各地で新たな生活が始まるとともに、行楽シーズンを迎えるこの時期は、交通事故が多く発生する時期でもありますので、『交通事故ゼロ』・『飲酒運転根絶』に向けて、今一度、交通安全への思いを高めていきましょう。

3/26

力強い新たなサポーター

のぞみ園『障害児相談支援事業所』オープン

4月1日(月)、市は『児童デイサービスセンターのぞみ園』内に新たに『障害児相談支援事業所』を開設しました。

発達に心配のある子どもが地域で安心して生活できるよう、家族や子ども本人を専門の職員がサポートし、支援の方向性やサービスの利用回数などを一緒に考えていきます。



▶生活の様子や家族の支援状況などを聞き、助言などを行う相談支援専門員



また、市は4月から、『登別市総合相談支援センターe'n』（美園町）を基幹相談支援センターに移行し、相談支援体制の充実を図ります。



▲学区ごとに分かれて、情報共有を図る先生たち



▲市内で地域に根ざした交通安全啓発活動に取り組んでいく交通安全指導員